

*The Environmental
Challenge*

Sustainability
Report 2023

みらい book

*The Environmental
Challenge*

アンケートに
ご協力を
お願いいたします。



SANKO

TEL 0859-44-5367

FAX 0859-42-3864

〒684-0034 鳥取県境港市昭和町5番地17

<https://sankokk-net.co.jp>

▶ 会社概要

商号	三光株式会社
代表者	三輪 昌輝
設立	1979年9月
資本金	4,800万円
従業員	312名(2023年12月1日現在)

エコで未来を創造する。

SANKO
Creating The Future with Eco

ECOで 「みらい」を 創造する。

三光が取り組んできた1年間の活動を
1冊に集約いたしました。

新たに広がる事業活動や、
持続可能社会の実現に向けての
環境活動・地域貢献活動を
ご報告いたします。

SANKO

Sustainability Report 2023

〔報告範囲〕

対象組織：三光株式会社

※一部、三光グループ会社の活動報告を含みます

対象期間：2022年10月～2023年9月

※一部、対象期間外の情報を含む他、

環境データは2022年4月～2023年3月としています

index

編集方針／目次	02
メッセージ 代表取締役社長 三輪昌輝	04
News① 2024年夏 新施設稼働	06
News② サンライズさんこう《最優秀賞》を受賞	07
環境について	08
地域について	10
コンプライアンスについて	12
社員について	14
コラム	16
三光グループの取り組み	17
企業データ	18
会社概要／編集後記	22

地域の未来を守るため

「もったいない精神」から 広がる輪を大切に

三光 株式会社
代表取締役社長

三輪 昌輝

皆様、毎々格別のご愛顧を賜り、厚く御礼を申し上げます。お陰様で、今期もSustainabilityレポート（第5版）を発行することができました。今回のテーマは、「地域の未来を守るため」といたしました。私たちにできることは限られますが、その視点から私たちができることってなんだろうかと、ウィルビーイングの思想のもと、考え、実施してきたことをご紹介します。最後まで、ご一読いただけますと幸いです。

さて、今期の弊社の取組において、私が最もご紹介したい取組は、特例子会社のサンライズさんこうと協働で立ち上げた「もったいないりゆうす」プロジェクトであります。プロジェクトの内容は、端的に申せば、コロナ禍で感染予防対策として重用されたアクリルパーテーションの再利用（リユース）であります。リユースとは、本来、同様の仕様目的で再使用することにあると思いますが、今回はそのアクリルパーテーションを素材として再使用することですので、正しくはアップサイクルなのかも知れません。この取り組みは、多くのお取

先の皆様にご賛同を得ることができ、想定以上のアクリルパーテーションをご提供を頂きました。また、多くのお取引様や自治体様に商品開発へご協力を頂いております。このようなりユースの輪が広がっていくことが本当にうれしく、その喜びを強く感じた1年でありました。「もったいない」という精神はとても日本人らしく、私がいつも大切にしている行動規範であります。このプロジェクトは、それをカタチにできた取り組みでありました。

世界は、サーキュラーエコノミー社会として、劇的に、急速に、発展、進化しております。私見ではありますが、その根幹にある思想とは、日本人が大切に育んできた「もったいない」の精神ではないかと考えています。世界の潮流がそれにある限り、当面の弊社の中心的な取り組みと位置付けております。

企業理念

私たちは人類の永続と繁栄と幸せのため

創造的思考をもって楽しく、真面目に、一所懸命行動し

地域にとってなくてはならない企業であり続けます。

三光株式会社は、企業理念の根幹たる「地域にとってなくてはならない」を創造し、今日まで活動して参りました。近年、「環境」は世界の中心課題であり、SDGsを旗頭に持続可能な社会を構築するべく、活動が日本でも大きく広がってきております。弊社も、17の目標を正しく理解し、その一助となるべく、「楽しく」、「真面目に」、「一所懸命に」活動して参りたいと考えております。引き続き、ご愛顧賜りますようお願い申し上げます。



持続可能な社会に向けた取り組みとお客様の潜在的ニーズへのサービスを創造

未利用エネルギーの活用が環境アワードを3件受賞

弊社が取り組んでいる未利用エネルギーを活用（サーマルリサイクル）した、キジハタ、海ぶち（フサイワツタ）、ゴズ（マハゼ）などの陸上養殖の取り組みを評価いただき、とっとりSDGsビジネスアワード2022で《優秀賞》、第10回グッドライフアワードで《10周年特別賞ロングライフ賞》、脱炭素チャレンジカップ2023で《奨励賞》を受賞しました。

- 各アワードについてはこちらをご覧ください
- とっとりSDGsビジネスアワード (<https://www.tottori-sdgs.com/business-award>)
- 第10回グッドライフアワード (https://www.env.go.jp/policy/kihon_keikaku/goodlifeaward)
- 脱炭素チャレンジカップ (<https://www.zenkoku-net.org/datsutanso>)



とっとりSDGsビジネスアワード表彰式

未利用エネルギーの活用によって得られる3つの側面を紹介

【環境】

廃棄物を焼却処理する工程で発生する排熱エネルギーを、有効なエネルギー資源として回収し、蒸気に変化して発電、乾燥工程の熱源として使用、その後の余剰熱を陸上養殖に使用する海水の加温に活用しています。これにより、火力発電由来のCO2の削減に貢献し、産業廃棄物処理業者の中で、国内初のJクレジット認証を受け、地域やお取引先へのカーボンオフセットの実現にも繋がりました。

【経済】

本来であれば膨大なコストが掛かるところ、「ハイブリッド式閉鎖循環型陸上養殖」の導入による排熱利用によって、コスト削減に繋がりました。キジハタは、山陰を中心に飲食店等で一般のお客様へ提供している他、食品製造販売業者と連携し、「炊き込みご飯」などの商品開発を行い、販路開拓へと繋がりました。

【社会】

毎年、ゴズ（マハゼ）の稚魚調査を鳥取県水産試験場と地元高等学校の3者合同で実施しています。また、定期的な職場体験の受入や、養殖したゴズを使用しての調理実習の実施などに取り組んでいます。他にも、養殖場の一部業務を特例子会社「サンライズさんこう」の社員が行うなど、多様な人材の活躍の場としての機能もしています。更に、教育機関やお取引先を中心にSDGsや環境をテーマにおいた出前授業やセミナー、工場見学を積極的に行い、信頼関係の構築にも繋がっています。



養殖担当者のコメント 社長室 松本 一好

ここ数年の養殖事業の取り組みを振り返ってどう思いますか。

廃棄物焼却由来の排熱を有効利用し、全国でも珍しい陸上養殖を行ってきました。生き物を飼う大変さは有りましたが、小規模ながらも色々なメディアを通じ地域の方々に認知して頂き、お褒めのお言葉等も頂戴し、その苦労も報われる大変やりがいの有る仕事だと感じます。

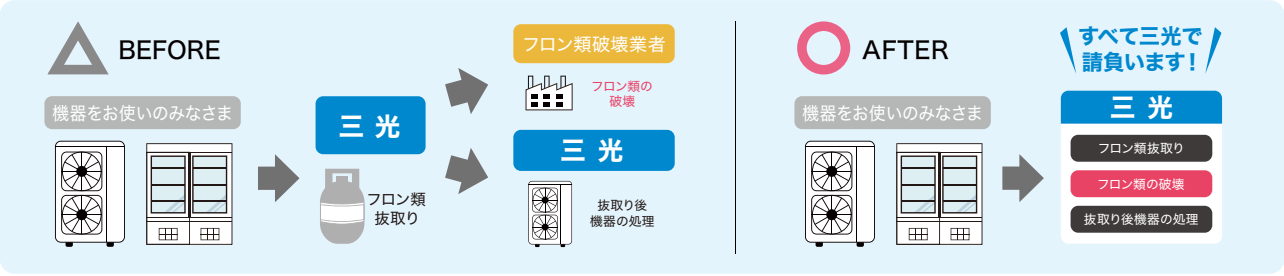
脱炭素社会へ向けて

2024年夏には新たな焼却炉の稼働に向けて海ぶち（フサイワツタ）の養殖も拡大していく予定です。脱炭素社会を目指し多様な取り組みが行われていますが、光合成によってCO2を取り込む植物は、海洋面の海藻も同様です。全国で起こっている磯枯れという現象を少しでも解消し豊かな海産資源を復活し、海に溶け込むCO2を減らしていきたいと考えます。そして、海藻は工業品や化粧品分野等、多岐に利用価値が有る物なので、未来につながる有意義な取り組みだと考えています。

フロン類破壊業者許可を山陰初取得

2023年12月、山陰両県で初めて、フロン類破壊業者許可を取得しました。今回の取得により、従来、フロン類抜き取り後、破壊を他社に依頼していましたが、弊社にてワンストップで処理を行うことが可能になります。

オゾン層の破壊や、温室効果を上げる恐れのあるフロン類を適正処理することは、地球環境保全活動につながります。また、鳥取県でワンストップ処理を行うことで、地域貢献にも寄与できると考えております。



ビーチクリーナーによる海岸清掃

ビーチクリーナーによる、県内2カ所の海岸清掃を行いました。今回の清掃は、地域貢献やSDGs等の一環として、兵庫県神戸市にある藤定運輸株式会社様所有の世界に一台しかないビーチクリーナーを使って協働で実施しました。

ビーチクリーナーとは

全長約6m、高さ約3m。前方の鉄の爪を回転させ、砂浜の表層を耕すように掻き取り、砂浜の表面だけではなく、10cmほどの深さに埋まっているゴミや漂着物、ガラス片、貝殻のかげら石などを取り除くことが出来ます。掻き上げた砂はふるいながら、ゴミ等だけを後方のバケツ（収集箱）に集めることができます。

清掃時の様子

賀露みなと海水浴場では、約5時間をかけてゴミの収集作業を行いました。プラスチックゴミはもちろん、木くずや葎（あし）、海

藻等、260kgのゴミを回収しました。清掃の数日前に悪天候だったことが影響して、自然由来のものが目立ちましたが、危険のあるガラスゴミ等も集めることができました。

皆生温泉海遊ビーチでは、12名が約6時間をかけて、プラスチックゴミや葎（あし）等を回収、前日の事前清掃と合わせて1,240kg収集しました。



ビーチクリーナー



三光ビームであきらめていたガンコな汚れを解決

木材パネルの製造販売を主な事業にされているお取引先様において、三光ビームを使った特殊高圧洗浄作業を行いました。清掃した汚れは木製品を乾燥させる工程で発生するコンクリート床に付着したヤニです。

お客様のお困りごと

床が真っ黒になっているこちらのヤニは、従来ヘラのようなもので、はぎ取る作業を行っていました。春・秋・冬のシーズンは固まった状態のため作業時の問題はないのですが、夏場は直射日光等が当たって温度が上がると、固着したヤニが粘性を有するため、フォークリフトタイヤへの付着や作業靴への付着があり、それらからヤニを剥がす作業が大変でした。

三光ビームの特徴を活かした清掃作業

固着したヤニは温度が上がること、固まりから粘性を有する状態に変わります。それを踏まえ三光ビームの水溫調整できる特徴を活かして、高温（100度前後）の水を噴射することで床面の汚れを清掃することができ、徐々に固着したヤニを落としていくことができました。



作業中



作業前後の様子がくっきりと

地域のニーズに寄り添う 交流と地域貢献

■ 地元中学校から職場体験学習を受入

2023年9月5日から4日間、境港市立第三中学校の2年生4名が職場体験学習に来られました。工場や本社内の見学をはじめ、5Sに関する活動、レクリエーションも交えながら「中学生の私たちが知りたい」と「三光社員として伝えたい」情報をまとめた、オリジナル新聞制作に取り組んでもらいました。また、仕事をする上で必須のスケジュール変更もあり、臨機応変に動かなければならない場面も多くありましたが、「働くこと」「将来のこと」について知るきっかけになったのではないかと思います。弊社社員にとっても受入側として勉強になることが多く、貴重な教育機会となりました。



■ 技術部門の業務について説明を受ける様子



■ 生徒のみなさんがまとめた
職場体験レポート

■ とっとりのミリョク発見！発信！親子でおしごと体験ツアー

2023年8月1日、「とっとりのミリョク発見！発信！親子でおしごと体験ツアー」のみなさまが来社されました。このツアーは、鳥取県教育委員会が主催する、県内企業の訪問を通じて楽しみながら社会のしくみを学べるものです。「働くことの意味、やりがいを知り、将来の自分について親子で考えるきっかけにするとともに、得た学びを自由研究やリーフレットにまとめて発信することで、ふるさとの良さをより実感して欲しい」という目的の下、開催されました。ツアーの最後に、廃棄物を処理する企業の中には、「工場で処理をする人」がいることはもちろん、「電話を受けたり書類を準備したりする人」、「お客様のお困りごとを解決する手助けをする人」、「法律をチェックする人」等、たくさんの仕事があることをお伝えしました。これまで中学生向けの職業講話なども行ってきましたが、小学生に向けて行ったのは今回が初めて。参加者のみなさんがまとめられた成果物の発表を楽しみにしています。



■ 廃棄物の投入を高層階から見学



■ オリジナルカードゲームを通じた環境学習

■ 第9回しまねいきいき雇用賞を受賞

2022年11月8日に島根県庁内講堂にて、弊社の江島工場、安来支店、出雲支店、浜田営業所が県知事賞を受賞しました。当日は丸山島根県知事による表彰状ならびに表彰盾の授与と、歓談会が行われ、様々な業種の方々が積極的に取り組まれた職場づくりについてお話を伺うなど、大変貴重な機会を得ることができました。

弊社で行っている雇用に関する取り組みの一例

地域貢献を目的とした活動も、雇用促進や企業の魅力向上などに資する取り組みとして評価をいただくことができました。

- 「一隅制度」、「かいぜん制度」などの社内報奨制度
- 「出前授業」、「工場見学」などの環境学習



■ いきいき雇用賞表彰式

■ 環境教育などの取り組み

毎年県内外各所における出前授業や職業講話に伺い、児童・生徒のみなさんとの交流を深めながら環境学習を行っています。また、お取引先の視察を含めて年間150件以上の工場見学を受け入れています。



■ 職業講話(年間3件)



■ 工場見学(年間150件以上)



■ 出前授業(年間13件)

■ 第32回境港ペーロン大会へ出場

2023年7月30日、4年ぶりとなる境港ペーロン大会が開催されました！ペーロンは中国からやってきた細長い舟のこと、白龍(パイロン)が語源と言われています。今回は全11チームが参加し、三光は部署やグループ会社の垣根を越えたOneチームで試合に臨みました。悔しくも順位は振るいませんでしたが、参加した社員は部署の垣根を越えた交流を通して、久しぶりのイベントを一所懸命楽しんでいる姿がとても印象的でした。来年以降も大会前の練習を重ねてチーム力を磨き、地域イベントを盛り上げる交流を重ねていきます。



■ ペーロン大会

コンプライアンス遵守の意識づけと情報発信

■ 潮見工場蒸留施設での「有機溶剤製品の蒸留再生」においてISO9001の認証を取得

2023年3月23日付にて、潮見工場蒸留施設における「有機溶剤製品の蒸留再生」を登録の範囲として、ISO9001（品質マネジメントシステム）の認証を取得しました。

2005年には弊社全工場ならびに物流グループにおいて、弊社の主要事業である廃棄物の収集運搬や処理についてISO14001（環境マネジメントシステム）の認証を取得しており、今日まで順守し、事業活動に取り組んできました。

今後は、この度導入した蒸留施設にて、ISO9001の品質マニュアルに準拠した運用による、品質の高い有機溶剤製品の蒸留再生にも努めていきます。

《蒸留施設について》

2022年10月に潮見工場へ設置された蒸留施設では、お取引先様から排出された廃有機溶剤を蒸留再生し再資源化させるマテリアルリサイクルを行っています。

この蒸留事業を行うことにより、再生資源を使用した製品製造を

通じて、製造、販売、消費、再生、製造という循環が可能となり、サーキュラーエコノミー社会の実現に役立つ事業と考えています。その上、蒸留工程には、工場の焼却排熱由来の蒸気を使用しているため、サーマルリサイクルの一環となり、さらに環境影響の軽減にも繋がっています。

今後も、リサイクル技術の向上、確立を目指し、地球環境保護活動に寄与していきます。



■ 蒸留施設



■ ISO9001 認定証

■ 江島工場で廃プラ新法(プラスチック資源循環促進法)の勉強会を開催

2022年4月に施工された「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律(プラスチック資源循環促進法)」の勉強会を行いました。

コンプライアンス推進課課長の主導のもと、今回はプラスチックのリサイクル業務を担う工場にて勉強会を実施しました。プラスチック資源循環促進法の概要や仕組みについて、クイズなどを交えながら、実践的な知識を深めつつ、今後マテリアルリサイクルについてどのように対応していくのか、ディスカッションやレクチャーを行いました。「地域にとってなくてはならない企業」であり続ける為に、これからも法改正などの変化に対応し、コンプライアンス遵守に取り組んでいきます。



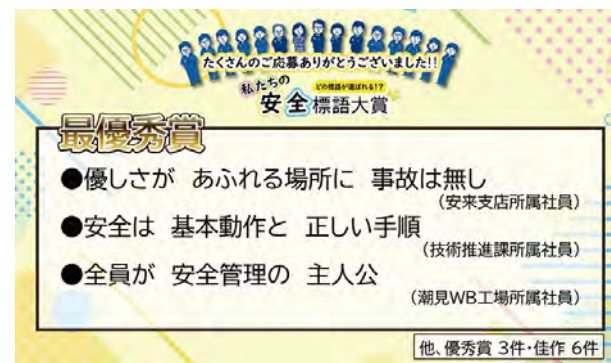
■ 工場部門へ向けた勉強会の様子

■ 三光安全標語が決定

厚生労働省が毎年7月に実施している「全国安全週間」に伴い、弊社では物損事故や労災事故の防止を目的とした安全標語を全社員から募集しました。

全部署を合わせて300件を超えるほどの応募があり、この中から社長の三輪が選考した12作の標語が入賞作品として決

定しました。入賞した12作品は社員たちの安全意識をより一層培うために、「三光安全標語」として社内や各拠点に設置しているデジタルサイネージにて毎日配信しています。今後も社員やご来社いただく全ての方々の安全を守るため、安全衛生管理に努めていきます。



■ 安全標語最優秀賞

優秀賞

- その違和感 気づけたきみに いいねボタン
- 焦らない 効率よりも 事故防止
- 見直そう ヒヤリハットは 改善だ

佳作

- 失敗は 会社の財産 隠さない
- 初期消火 スピード命 訓練だ
- 回転体 停めたか！目視と 指差呼称
- 死角から 飛び出したのは 君の明日
- 安全は いくらやっても 防げんぞ
- 作業前 安全確認 一呼吸

■ コンプライアンスに基づく廃棄物セミナーを実施

本年もお取引先様やご希望のあった企業団体様へ向けた廃棄物セミナーを実施しました。

セミナーの内容は、お客様が排出された廃棄物の処理工程をはじめ、産業廃棄物の基礎やリサイクル、SDGsなどの環境問題にも触れながら、廃棄物に関する法律やマニフェストについての解説など、お客様のご希望に沿った内容でクイズ等を交えながら楽しく解りやすくお話しています。

これからも、産業廃棄物処理へのご理解を深めていただけるような活動を進めていきますので、ご希望のお客様はお気軽に営業担当までご連絡ください。



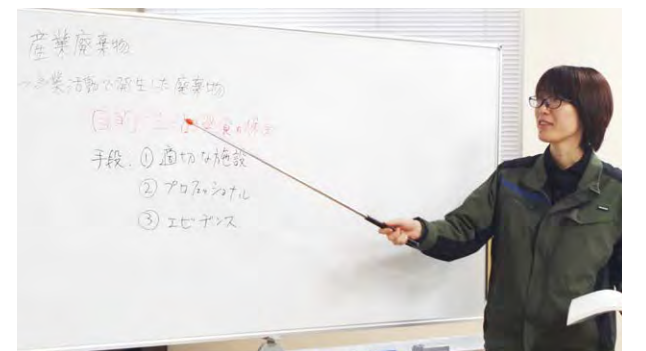
■ セミナーの様子

■ 産業廃棄物適正管理能力検定の受検推奨

弊社では総合環境事業の中でも、廃棄物処理業を主軸としており、実務に携わる社員は勿論のこと、バックヤードの社員も含め「産業廃棄物適正管理能力検定(以下、産廃検定)」の受検推奨に取り組んでいます。

「産廃検定」では、廃棄物処理法をはじめとした産業廃棄物にまつわる実務を適正に行うための基礎知識を学ぶとともに、習得度を量ることができます。

毎年7月、12月に行われる検定に向けたコンプライアンス推進課主催による社内勉強会の開催や、自社拠点での団体受検対応など社員が受験しやすい環境を整えています。



■ 産廃検定勉強会

自己成長へ向けて努力し、 お互いをリスペクトし合える職場づくり

すべての社員が学ぶことのできる機会の創出

弊社では今期も若手社員から管理職者まですべての社員の自己成長を目指し、様々な研修を行ってまいりました。引き続き「自分の成長」＝「会社の成長」であることを意識し、社員の学びの機会を提供・支援していきます。

【新入社員研修(フォローアップ、ステップアップ)】

当研修は、入社時(新入社員研修)の他に入社後6か月を迎えた時点での「フォローアップ研修」、入社後12か月を迎えた時点での「ステップアップ研修」の3回に渡って行われます。配属されてからの自分の成長や気持ちの変化などを同期の仲間と振り返り、さらに今後に向けての目標設定や、仕事を進めるにあたって必要となるコミュニケーションの基本を改めて学ぶことができました。

【若手社員研修】

昨年度に続き、新卒入社2、3年目および同世代の社員を対象とした社員研修を実施しました。研修のテーマは「思い出～非日常の研修がもたらす社員のつながり～」。アイスブレイクとして行った「ベチャリブレ」、入社後からの自分の成長を振り返る「自分史作成」などを通して、部署や拠点の垣根を越えた交流を深めることができました。さらに、若手社員目線で作る「会社パンフレット作成」では、管理職にあたる社員がオブザーバーとして参加。成果物発表へ講評を行うなど、新型コロナウイルスが流行した時期に入社した社員にとってなかなか経験できなかった、縦や横のつながりを広げていく機会となっています。

【その他実施研修一覧】

- 管理職研修 ●工場内研修(法令、運転管理等)
- 安全教育 ●産廃検定勉強会
- ビジネスモデル構築プロジェクト 等



■ 今後へ向けた決意表明



■ 集合写真



■ 釣り好きの学生に向けたオリジナルパンフレットを作成



■ ワークの様子



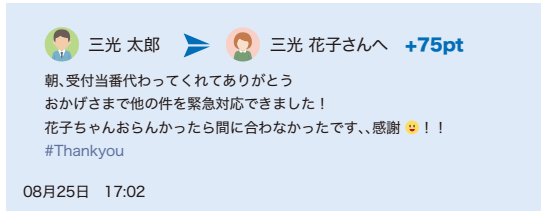
■ 管理職者研修

■ 全社参加型プラットフォームUniposの導入

社員間で日頃の行いを賞賛し合い、ポイントを送るサービス「Unipos」を導入いたしました。当サービスの導入目的は以下の通りです。

- ①互いを称え合う文化を形成し、いきいきとした組織づくり
 - ②社員間の相互理解による困ったときに頼りやすい職場環境づくり
 - ③昨年度実施した「一隅制度」をよりライトにし、人事制度だけでは拾えない社員の隠れがちな貢献を見える化させる
- アプリを活用することで、PCやスマートフォンから気軽に参加でき、さらに感謝の気持ちを受けとった人はスタンプを使ってリアク

ションを返せるようになりました。部署を超えて沢山の賞賛・感謝・応援などメッセージのやりとりが行われており、日々の業務では見えないつながりや交流を知る機会となっています。



■ 永年勤続表彰

三光グループの発展のために尽力し貢献してきた社員に対して、入社20年・30年という節目の年に功労を称える表彰式を行っています。今年度は、6名(勤続30年1名、20年5名)の社員が表彰を受けました。

今回の式にあたって代表取締役社長の三輪より、長年にわたる功績への労いと「今後も皆さんの知識や経験で、後進育成や若手教育の協力をお願いします。」と、今後の活躍にも期待を寄せる激励の言葉が送られました。



■ 永年勤続表彰

■ 三光ハンドボール部 大会に初出場

2022年4月発足した三光ハンドボール部が、大会に初出場しました。

今年は鳥取県ハンドボール協会主催の「第50回鳥取県室内総合ハンドボール選手権大会」(2023年3月)、「第44回日本海ハンドボールリーグ」(2023年6月～2024年1月)にエントリーし、鳥取県内から集まった様々なクラブチームとの試合に挑んでいます。

さらに、「特別国民体育大会(中国ブロック大会)」(2023年8月)には鳥取県代表として2名が選手として、1名がコーチとして選出され大会に出場し、ハンドボール部として活動の幅を大きく広げる1年にすることができました。



■ 試合に挑む部員



■ シュートを決めに行く様子

Uniform project

2023年1月より、新ユニフォームへ刷新しました

50周年を記念して、新ユニフォームへ刷新しました。
このユニフォームは、有限会社キット様（鳥取県米子市）と、HARADA株式会社様（本社：山口県防府市）と弊社各部署より集まった若手メンバーでプロジェクトチームを組み、約一年半をかけて、アイデアを出し合い、話し合いを重ね、完成させました。

ポイントは3つ

- ① すべてがフルオーダー
- ② SDGs「5、ジェンダー平等」の観点から、男女兼用アイテムへ
- ③ コーポレートカラー「ブルー」に、アースカラーの「カーキ」、締め色「ブラック」を追加して、ユニフォームカラーは3色で構成

新しいユニフォームでより一層チーム三光の力を高め、地域の皆様に信頼されるよう業務に取り組んでいくとともに、今後も社員が安心して働ける仕組みづくりを行っています。



■ プロジェクトの様子



プロジェクトメンバーからのコメント

現場から営業、ツナギからボロシャツへ。女性がメインのプロジェクトチームで参加に対して不安がありましたが、メンバーや制作会社の方々の協力で楽しいプロジェクトでした。同時期に工場から営業へ異動したこともあり環境は一変。様々な人との関わりが増え、意見を取り入れることの重要性にも気づけました。温故知新をリアルタイムで感じられる経験、色々な事柄ががらりと変わり高燃焼な体験でした。
(入社7年目 出雲支店 曾田将詩)



今回、会社の看板や歴史の1部となるユニフォームの刷新という、なかなか経験できないプロジェクトに参加させていただけて光栄でした。新ユニフォームへの様々な要望を踏まえ、プロジェクトメンバーと一緒に悩みながら、理想を形にしていく工程が印象的でした。そして完成後、社員の皆さんの喜びの声や、お客様からお褒めの言葉をいただいた時はとても嬉しかったです。ちなみに私はパンツが動きやすくてお気に入りです！
(入社6年目 潮見ウェストバイオマス工場 濱田 咲)



Anniversary

創立50周年記念「三光グループ家族感謝祭」を開催しました！

2023年5月14日、米子コンベンションセンターBiG SHiPにて弊社グループ創立50周年記念【三光グループ家族感謝祭『3(サン)×5(コー)＝15(に行こー)!!』】を開催しました。今回のイベントは社員およびご家族をご招待。射的やボールすくいその他に、飲食関係のお取引先企業様をはじめ、地元で人気の飲食店やキッチンカーにご協力いただき、屋台を用意しました。ステージでは、創業家の三輪博美へ感謝を込めた「サプライズビデオメッセージ」、1月よりリニューアルした「三光ユニフォーム紹介」など弊社グループの創設時から現在までの歴史を感じることでできるプログラムとなりました。また、「カラオケ大会」や「大抽選会」なども行い、50周年のお祝いを大盛況で終えることができました。改めまして、この度ご協力いただきましたお取引先企業様、来場いただきました

社員ならびにご家族様には、心より御礼申し上げます。50年を通過点として、これからも「地域にとってなくてはならない企業」を目指して邁進してまいります。



■ 「イチ、ニー、サンコー!!」の掛け声で締めくくりました。



■ 来場された方には6社のお取引先企業様からお土産をご用意。

SANKO Group 三光グループ

鳥取県内全ての公立図書館に「水木しげるロード全妖怪図鑑」を寄贈しました 三光ホールディングス

2023年2月14日（一般社団法人）境港観光協会が取り組む地域文化振興事業に弊社が創立50周年事業として協賛し、鳥取県立図書館へ「水木しげるロード全妖怪図鑑」102冊を寄贈いたしました。

同図鑑は2022年9月に発売され、水木しげるロードに並べられている全ての妖怪ブロンズ像の最新の情報が解説されています。また年1回実施される「妖怪検定」のオフィシャルテキストでもあります。

今回、県立図書館を通じて県内のすべての公立図書館、大学・高校図書館に加え、国立国会図書館、国立公文書館などにも配布されます。



2023年度さんこう境高奨学生の授与式が行われました 三光ホールディングス

2023年4月10日、2020年11月に創設した「さんこう境高奨学金」の3回目となる授与式が、鳥取県立境高等学校で行われました。

今回の奨学生には2名が選ばれました。授与式では弊社代表の三輪より「3年間親元を離れて生活することは大変だと思いますが、この3年間で成長の時間として勉強と部活動に励んでください。」と挨拶し、奨学生の2名は「文武両道を目指して頑張っていきたい」「陸上部で様々な大会に出て記録を残していきたい」と今後の抱負を述べられました。

三光グループは今後も奨学金給付事業を通じて、県外等の遠方

から入学した生徒を支援することで、鳥取県境港市の高等学校教育の充実発展に寄与し、社会貢献を果たしていきます。



■ 写真左から 奨学生2名、弊社代表／三輪、境高等学校同窓会会長／土井一郎様、境高等学校校長／酒井敏彦様

とっとりエコフォーラムに出展しました 三光

2022年11月19日、鳥取県が主催した「楽しく体験！みんなで学ぶ！エコスタイル とっとりエコフォーラム」に出展しました！

このイベントは、2022年4月に「プラスチック資源循環促進法」が施行されたことを受け、プラスチック資源を含め環境問題に係る県民及び事業者の意識啓発のために開催されました。会場では、エコや脱プラスチックに関するパネルディスカッションやワークショップ、企業ブースやグルメブースなどが設けられました。三光ブースは、リサイクル事業について説明したパネルや製品の展示、炎色反応実験の実演や弊社オリジナル産廃カードゲームのほか、工場見学パンフレットを使用した塗り絵コーナーなど、様々なコ

ンテンツでご来場の皆様を迎えました。幅広い年代の方との交流、また、他企業様のブースを見学させていただき、今後への学びの場ともなりました。



■ 炎色反応実験実演

■ ブースの様子

環境ボランティアを実施

三光グループでは春と秋の年2回、環境ボランティアを実施しています。ボランティアの当日は、三光ホールディングス(株)、三光(株)、三光エネルギーサービス(株)の社員とご家族、総勢130名を超える参加者が集まり、本社や各工場・拠点の周辺で草刈りやごみ拾い等を行いました。また、普段顔を合わすことのない社員同士の部署を越えた交流の場ともなっています。

これからも総合環境企業として、地域にとってなくてはならない企業であり続けるために、地域環境保全活動を継続していきます。



■ 潮見ウェストバイオマス工場集合写真



■ 作業の様子



■ ご家族も参加

Data

財務データ、環境データ、社会データ

Financial data, Environmental data, Social data

各活動実績データ、産業廃棄物
処分業、収集運搬業許可一覧を
掲載しています。

活動実績データ

財務データ

科 目	45 期	44 期	差 額
	2022年10月～2023年9月	2021年10月～2022年9月	
売 上 高	8,159百万円	7,669百万円	490百万円
粗 利 益	6,014	5,938	76
販 売 管 理 費	4,999	4,436	563
営 業 利 益	1,016	1,502	△ 486
経 常 利 益	1,388	1,556	△ 168

社会データ

従業員数の内訳 (2023年3月末現在)

従業員数	男 性	女 性
305名	238名	67名

雇用状況

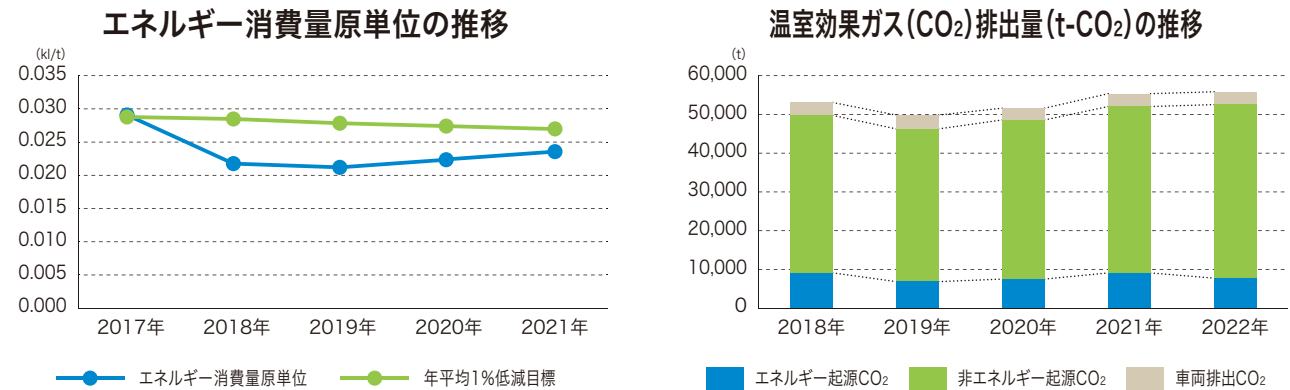
平 均 年 齢	43歳 (2023年4月1日)
平 均 勤 続 年 数	9年 (2022年度)
障 が い 者 雇 用 者 数	14.5名 (2022年度)

階層別女性労働者の割合 (2023年3月末現在)

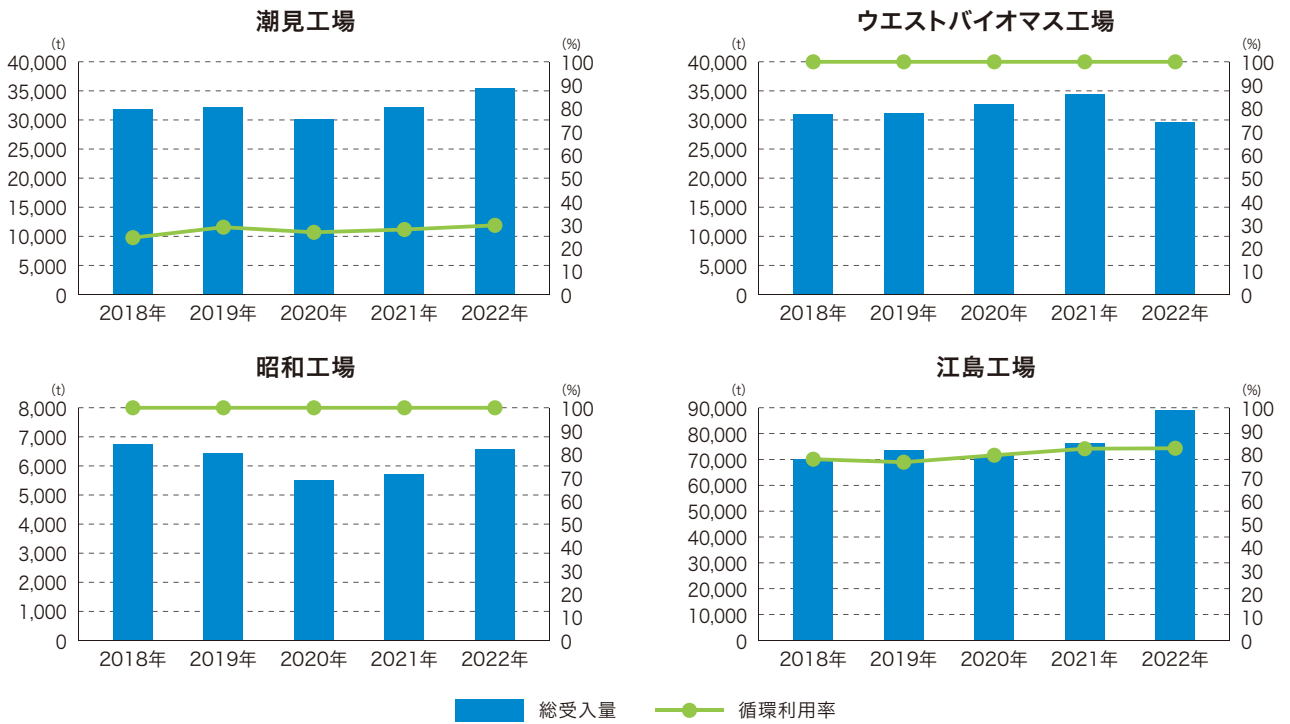
一 般 社 員	66名 (24%)
管 理 職	1名 (4%)
役 員	0名 (0%)

育児休業関連 (2022年4月～2023年3月末まで)

育 児 休 業 取 得 対 象 者 数			育 児 休 業 取 得 人 数		
女性	男性	計	女性	男性	計
2名	4名	6名	2名	1名	3名



再 資 源 化



2022年度の排ガス分析データ

潮見工場			ウエストバイオマス工場			江島工場		
	測定値	法規制値		測定値	法規制値		測定値	法規制値
ばいじん [g/Nm]	0.0086	0.08	ばいじん [g/Nm]	0.007	0.08	ばいじん [g/Nm]	0.020	0.08
硫黄酸化物 [K値]	0.310	17.5	硫黄酸化物 [K値]	0.748	17.5	硫黄酸化物 [K値]	0.150	17.5
窒素酸化物 [ppm]	70.0	250	窒素酸化物 [ppm]	172.0	250	窒素酸化物 [ppm]	108.0	250
塩化水素 [mg/Nm]	18.0	700	塩化水素 [mg/Nm]	75.0	700	塩化水素 [mg/Nm]	29.9	700
ダイオキシン類 [ng-TEQ/Nm]	0.084	1	ダイオキシン類 [ng-TEQ/Nm]	0.0078	5	ダイオキシン類 [ng-TEQ/Nm]	0.14	1

産業廃棄物処分業許可・事業所一覧

工場	産 業 廃 棄 物														特 別 管 理 産 業 廃 棄 物														※				
	燃えがら	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残渣	動物系固形不棄物	ゴムくず	金属くず	ガラスくず等	がれき類	家畜ふん尿	ばいじん	鉱さい	引火性廃油	引火性廃油 _{有害}	強酸	強酸 _{有害}	強アルカリ	強アルカリ _{有害}	感染性廃棄物	燃えがら _{有害}	廃油 _{有害}	汚泥 _{有害}	廃酸 _{有害}	廃アルカリ _{有害}	ばいじん _{有害}	低濃度PCB廃棄物	
潮見	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
W B	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●					●	●																
昭和	●	●	●			●		●		●		●	●				●																
江島	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																		

※環境大臣認定 ※詳細な許可情報について、三光webページの「情報開示」に掲示しております。

産業廃棄物処理業許可一覧

2024年1月14日現在

地方	行政名称	産 業 廃 棄 物	特別管理産業廃棄物
処 分 業			
中国地方	鳥 取 県	● 03124003489	● 03174003489
	島 根 県	● 03220003489	
	松 江 市	● 12920003489	
収 集 運 搬			
中国地方	鳥 取 県	● 03114003489	● 03164003489
	鳥 取 市	● 12811003489	● 12861003489
	島 根 県	● 03210003489	● 03260003489
	松 江 市	● 12910003489	
	岡 山 県	● 03303003489	● 03353003489
	広 島 県	● 03400003489	● 03450003489
	山 口 県	● 03506003489	● 03556003489
九州地方	福 岡 県	● 04000003489	● 04050003489
	大 分 県	● 04408003489	
四国地方	高 知 県	● 03900003489	
	徳 島 県	● 36000003489	
	香 川 県	● 03709003489	
	愛 媛 県	● 03807003489	
近畿地方	京 都 府	● 02601003489	● 02651003489
	滋 賀 県	● 02501003489	● 02551003489
	兵 庫 県	● 02804003489	● 02854003489
	大 阪 府	● 02700003489	● 02750003489
	奈 良 県	● 02900003489	● 02950003489
	三 重 県	● 02400003489	
	和歌山県	03000003489	
収 集 運 搬			
中部地方	福 井 県	● 01805003489	● 01855003489
	愛 知 県	● 02300003489	02350003489
	静 岡 県	● 02201003489	02251003489
	山 梨 県	● 01900003489	
	長 野 県	● 2009003489	● 2059003489
	岐 阜 県	● 02100003489	
関東地方	富 山 県	01601003489	01651003489
	石 川 県	01709003489	01759003489
	東 京 都	● 13-10-003489	● 13-60-003489
	神奈川県	● 01403003489	● 01453003489
	埼 玉 県	● 01101003489	● 01151003489
	千 葉 県	● 01200003489	01250003489
関東地方	群 馬 県	● 01000003489	
	栃 木 県	● 00900003489	
	茨 城 県	● 00801003489	
沖縄地方	沖 縄 県	● 04704003489	● 04754003489

I want to keep looking for the "can do" until the end.

最後まで「できる」を探し続けたい。

年間処理数量

187,811 t/年
(2022年度実績)

Jクレジット残高

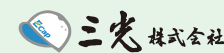
2,085 t-CO₂
(2023年12月現在)



三光 ホールディングス株式会社

グループの経営戦略策定及び経営管理

〒684-0034 鳥取県境港市昭和町5-17
<https://sanko-hd.co.jp>



三光 株式会社

総合環境事業

〒684-0034 鳥取県境港市昭和町5-17
<https://sankokk-net.co.jp>



三光 エナジーサービス株式会社

石油輸送・販売事業

〒684-0034 鳥取県境港市昭和町5-17
<https://www.sanko-es.jp>



H-tec 株式会社エイチテック

建設コンサルタント

〒720-0822 広島県福山市川口町一丁目16-35
<https://www.h-tec2004.co.jp>

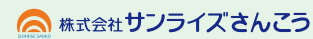


株式会社コーケン

土木建築

運送
解体
産業廃棄物処理事業

〒692-0017 鳥取県安来市下坂田町290-5
<https://koken-yasugi.co.jp>



株式会社サンライズさんこう

障がい福祉サービス
産業廃棄物処理業

〒684-0034 鳥取県境港市昭和町5-17
<https://sankokk-net.co.jp/sunrise>



堀井工業

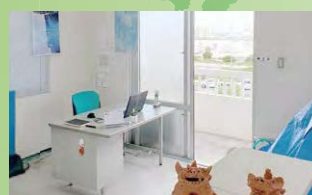
土木建築設計

〒901-2126 沖縄県浦添市宮城2-7-2 404号
<https://horiikogyo.com>



■ 本社

〒684-0034 鳥取県境港市昭和町5番地17
TEL 代表 0859-44-5367 FAX 代表 0859-42-3864
営業 0859-42-5533 営業 0859-47-4532



■ 沖縄営業所

〒901-2103 沖縄県浦添市仙間1-5-7 山内ビル303
TEL 098-988-8610 / FAX 098-988-8444



■ 浜田営業所

〒697-0006 鳥取県浜田市下府町327-71
TEL 0855-24-1267 / FAX 0855-24-1277



■ 中部営業所

〒455-0024 愛知県名古屋港区大江3
(JERA西日本支社ビル内)
TEL 0859-21-2100 / FAX 0859-47-4531



■ 板橋営業所

〒174-0041 東京都板橋区舟渡1-7-6
TEL 03-5914-0288 / FAX 03-5914-0299



■ 東日本営業部

〒111-0052 東京都台東区柳橋1丁目3-6
VORT浅草橋駅前B10階
TEL 03-6263-0480 / FAX 03-6263-0481



■ 安来支店

〒692-0017 鳥取県安来市下坂田町290-5
(株式会社コーケン内)
TEL 0854-27-7705 / FAX 0854-22-4288



■ 倉吉営業所

〒682-0913 鳥取県倉吉市和田東町146-3
TEL 0858-27-0270 / FAX 0858-24-6020



■ 鳥取支店

〒689-0105 鳥取県鳥取市福部町瀬山544-1
TEL 0857-75-2551 / FAX 0857-74-3551



■ 江島工場

〒690-1401 鳥取県松江市八束町江島1128番地105
TEL 0852-76-3586 / FAX 0852-76-3426



■ 潮見工場

〒684-0074 鳥取県境港市潮見町1番地
TEL 0859-44-5277 / FAX 0859-44-7500



■ ウェストバイオマス工場

〒684-0074 鳥取県境港市潮見町2番地2
TEL 0859-21-4860 / FAX 0859-21-4861



■ 昭和工場

〒684-0034 鳥取県境港市昭和町5番地11
TEL 0859-42-6960 / FAX 0859-42-6961

編集後記

Sustainability Report 2023「みらいbook」をご覧いただき、ありがとうございました。本レポートの「地域の未来を守るため」というテーマを決めるにあたって、はじめに三光が取り組んできた活動について「環境・地域・コンプライアンス・社員」という4つの側面について振り返りました。それぞれの取り組みなどを通じて持続可能な社会の実現に向け一歩前進

ることができた1年であったと感じています。また、今回は新調したユニフォームと同じ緑色を基調としたデザインを施したことから、どこか新鮮な面も感じます。次年度もさまざまな三光カラーを出していけるよう、今後も「楽しく、真面目に、一所懸命に」事業に取り組んでまいります。

総務・人事課 山本、村山、田川、伊達